

平成22年度 事務事業評価

整理番号

38-34

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 02	項 06	目 01	事業 02	細事業 01
細事業名	監査事務					

担当部局 監査委員事務局	担当課長の氏名 小石原 利和
担当課等 監査委員事務局	担当者の氏名 田中 光男

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VII 計画推進のために 計画項目 (施策) ① 効率的な行財政運営の推進 施策方針
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 各種監査の実施により、市行財政の適法性、効率性及び有効性の確保に努める。 事業の目的 (平成26年度までの、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 各種監査の実施により、事務事業の改善に資する。
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 監査計画に基づき、年間を通じて各種の監査を実施した。 【実施した監査】 例月出納検査、決算審査、財政健全化判断比率等審査、定期監査、財政援助団体等監査
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 各種監査の実施とその結果の共有により、各部署の事業執行や事務について改善が図られた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	1,920	国庫支出金		
	9	203	府支出金		
	11	281	起債		
	12	6	分担金・負担金		
	19	52	その他		
			一般財源		2,462
事業費合計		2,462	合計		2,462

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由 監査実施中の指摘や指導及び監査結果の報告を通じて総合的に事務事業の改善が図られるなど、市行財政の適法性、効率性及び有効性の確保に資することができた。
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) <input type="radio"/> 遅れている(できていない)	
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由 費用の大部分が監査委員の報酬や旅費、また事務費(実務提要の追録代など)であるため。
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった <input type="radio"/> 削減の余地があった	

ACTION		
改善	事業内容の方向性	理由 年間の計画に基づき監査を実施し、市行財政の適法性、効率性及び有効性の確保に資することができる。
	<input type="radio"/> A 現状維持 <input type="radio"/> B 内容の見直し <input type="radio"/> C 統廃合・休止・終了	
改善	事業規模の方向性	理由 年間の計画に基づき監査を実施し、市行財政の適法性、効率性及び有効性の確保に資することができる。
	<input type="radio"/> A 事業拡大 <input type="radio"/> B 現状維持 <input type="radio"/> C 事業縮小	